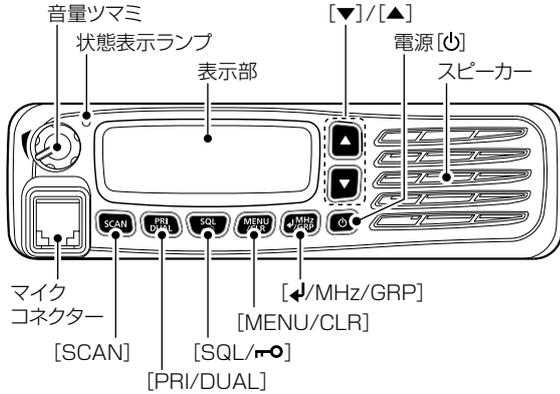
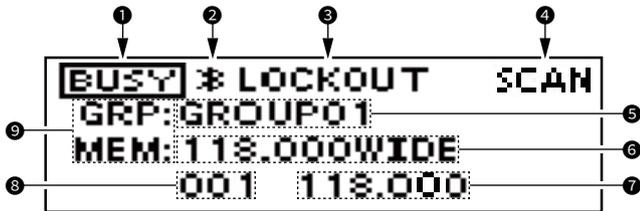


各部の名称

■ 前面パネル



■ 表示部



1	BUSY : 受信中、またはスケルチオープン時 (状態表示ランプが緑色に点灯) TX : 送信中(状態表示ランプが赤色に点灯)
2	Bluetooth接続中
3	メモリーチャンネルをLOCKOUTチャンネルに設定時
4	SCAN : スキャン時 PSCAN : プライオリティースキャン時 CH:XXX(チャンネル番号) : チャンネル変更時(5秒間)
5	グループネーム*
6	メモリーネーム(登録した場合)*
7	送信周波数、または受信周波数*
8	チャンネル番号*
9	MEM/GRP : メモリーモード時* PRI : プライオリティーチャンネル選択時

★ 設定によっては表示されません。

操作方法 [基本編]

1. 電源を入れる

- [ON]を長く押し、電源を入れます。
- ・ 待ち受け状態になります。
- ※電源を切るときも、同じ操作をします。

2. メモリーチャンネルを選択する

[▼]/[▲]を押して、チャンネルを切り替えます。

3. 呼び出しをする(送信する)

他局が通信していないことを確認後、マイクロホンの[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。

4. 呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、「BUSY」が表示されます。
※受信中に、音量大ツマミを回して、聞きやすい音量に調整してください。

ご注意: タイムアウトタイマー機能について

電波法に基づき、本製品には連続して送信できる時間を制限するタイムアウトタイマー機能が搭載されています。設定された時間を超えると、自動的に送信を停止します。

操作方法 [応用編]

ご利用になる目的に応じて、下記の機能をご使用ください。

■ スケルチレベルの調整

無信号時の「ザー」という雑音(ノイズ)を制限する機能です。
(以下、ノイズスケルチをスケルチと表記します。)

[SQL/SQL]を押してから、[▲]/[▼]を押すと、スケルチレベルを調整できます。

- ・ 設定範囲: 0(開放)、1~24

※スケルチレベルの数値が小さいほど、弱い信号を受信しても音声が出力されません。



■ サイドトーン機能

ヘッドセット接続時、ヘッドセットから自分の声が出力される機能です。
※ヘッドセットのご使用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

メニュー画面からサイドトーンの音量を調整できます。

(MENU > SETTINGS > SOUNDS > SIDE TONE)

- ・ 設定範囲: 0(OFF)、1~10

■ ロック機能

キーをロックすることで、不用意にメモリーチャンネルや設定が変わることを防げます。

[LOCK]を長く押し、キーをロックできます。

※ロックを解除するときも、同じ操作をします。

〈ロック中にできる操作〉

- ◎ ロック機能の解除
- ◎ 音量の調整
- ◎ スケルチレベルの調整
- ◎ 電源のON/OFF

■ ノイズキャンセル機能/ANL(自動雑音制御)機能

周囲の雑音を抑えて、雑音の少ない音声にして通話する機能です。

受信時は、外部雑音が多い場合に一定値以上の強い雑音を制限するANL機能も使用できます。

メニュー画面から設定できます。

(MENU > SETTINGS > FUNCTIONS > NOISE LIMITING)

■ スキャン

[LOCKOUT]に設定されていないメモリーチャンネルを自動で切り替え、信号の出ているチャンネルを探し出します。

[SCAN]を短く押し、スキャンの開始/解除ができます。

※[LOCKOUT]に設定されたメモリーチャンネルは、スキャン対象から除外されます。

[LOCKOUT]に設定したいメモリーチャンネルを表示して、メニュー画面から[LOCKOUT]の設定を変更できます。

(MENU > MEMORY MANAGE > EDIT > LOCKOUT)

ご参考

[LOCKOUT]の設定は、[SCAN]の長押し(約5秒)でも変更できます。

※メモリーチャンネルに2チャンネル以上書き込まれていない場合は、スキャンが動作しません。

■ 操作音の設定

キーや音量大ツマミを操作したときの操作音は、メニュー画面から変更できます。

(MENU > SETTINGS > SOUNDS > KEY BEEP)

アイコム、ICOM、ICOMロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。
Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。

仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

メニュー画面による機能設定

設定内容を変更するときは

- [MENU/CLR]を押します。
- [▼]/[▲]を押して、設定項目を選択します。
1つ下の階層へ進む：[↵/MHz/GRP]
1つ上の階層に戻る：[MENU/CLR]
- [▼]/[▲]を押してから、[↵/MHz/GRP]を押して、設定を変更します。
※ほかの機能も変更するときは、手順2～3の操作を繰り返します。
※各設定内容については、お買い上げの販売店におたずねください。
- [⏏]を短く押すと、メニュー画面が解除され、通常画面に戻ります。

Bluetooth®の使いかた

Bluetoothユニット(別売品：UT-133)を本製品に取り付けると、Bluetooth対応機器とのワイヤレス接続ができます。本書では、Bluetoothユニットを取り付けたIC-A120Jを、本製品と記載します。

※注意事項や取り付けかたは、別紙の「ご使用になる前」をご覧ください。

Bluetoothの通信においては、周辺機器の影響で通信範囲が著しく変化します。

◎電子レンジなどによる妨害

◎無線LANによる妨害

このような場合は、ほかのワイヤレス通信を停止させたり、電子レンジなどの使用を中止したり、周辺機器との距離をはなすなどしてください。また、Bluetooth対応機器と本製品の距離をできるだけ近づけると、通信状況が改善することがあります。

■ 接続のしかた

1. Bluetooth機能をONにする

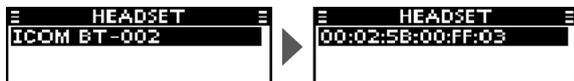
メニュー画面でBluetooth機能をONにします。
(MENU > SETTINGS > BLUETOOTH > BLUETOOTH FUNC)

2. Bluetooth機器をペアリングモードにする

操作については、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。
※機器によっては、接続にバスキーやPINコードが必要な場合があります。
詳しくは、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。

3. Bluetooth機器とペアリングして接続する

- DEVICE SEARCH画面を表示させます。
(MENU > BLUETOOTH > PAIR/CONNECT > DEVICE SEARCH)
- [HEADSET]、または[DATA DEVICE]を選択し、[↵/MHz/GRP]を押します。
 - Bluetooth機器の名前が表示されます。
 - ※Bluetooth機器が検索できないときは、「NOT FOUND」が表示されます。
 - ※キャンセルするときは、[MENU/CLR]を押してください。
 - ※5秒後にBluetooth機器の名前がアドレス表示に切り替わります。



- [▼]/[▲]を押して、ペアリングしたい機器を選択します。
- [↵/MHz/GRP]を押します。
 - 接続が成功すると、「☑」が表示されます。

※ペアリング(接続の認証)とは、Bluetooth機器と本製品をお互いに登録し、接続を許可するためのものです。
一度ペアリングしたBluetooth機器とは、それ以降のペアリングは必要ありません。

■ ペアリングを切断する

- PAIR/CONNECT画面を表示させます。
(MENU > BLUETOOTH > PAIR/CONNECT)
 - Bluetooth機器の名前が表示されます。
- [▼]/[▲]を押して、ペアリングを切断したい機器を選択します。
- [↵/MHz/GRP]を押します。
- [DISCONNECT]を選択し、[↵/MHz/GRP]を押します。
 - 「DISCONNECT?」が表示されます。
- [YES]を選択し、[↵/MHz/GRP]を押します。
 - チェックマークが削除されます。



■ ペアリングを解除する

- PAIR/CONNECT画面を表示させます。
(MENU > BLUETOOTH > PAIR/CONNECT)
 - Bluetooth機器の名前が表示されます。
- [▼]/[▲]を押して、ペアリングを解除したい機器を選択します。
- [↵/MHz/GRP]を押します。
- [DELETE]を選択し、[↵/MHz/GRP]を押します。
 - 「UNPAIR?」が表示されます。
- [YES]を選択し、[↵/MHz/GRP]を押します。
 - Bluetooth機器の名前が削除されます。



故障かな?と思ったら

下記のような現象は故障ではありませんので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
それでも異常があるときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

現象	原因	処置
電源が入らない	DC電源ケーブルの接触不良	接続をやりなおす
	外部電源装置などの電源が切れている	外部電源装置などの電源を確認する
	ヒューズの断線	原因を取り除き、ヒューズを交換する
スピーカーから音が出ない	音量が小さくなっている	適切な(聞きやすい)音量に設定する
	スケルチレベルが最大になっている	スケルチレベルを下げる
	Bluetoothヘッドセットを接続している	Bluetooth接続を切断する
キーパッドが使えない	ロック機能が動作している	[⏏]を長く(約1秒)押し、ロック機能を解除する
スキャンが動作しない	メモリーチャンネルに2チャンネル以上書き込まれていない	2チャンネル以上をメモリーチャンネルに書き込む ※お買い上げの販売店におたずねください。
操作音が鳴らない	操作音の設定がOFFになっている	メニュー画面から操作音の設定をONにする (MENU > SETTINGS > SOUNDS > KEY BEEP)
	音量が小さすぎる	適切な音量に設定する



Radio Communication Solutions
株式会社 ジャパンエニックス
JAPAN ENIX CO.,LTD.

- 本社 東京都品川区南品川 2-7-18 TEL 03-5715-2351
- 関西支店 大阪市西区千代崎 1-24-11 TEL 06-6583-7700
- 札幌営業所 □ 名古屋営業所
- 仙台営業所 □ 九州営業所

<https://www.jenix.co.jp/>

営業所住所はこちら▶

